

# 女性活躍推進フォーラム 第2回

## 「増客」に役立つカラー戦略を学ぶ

### 東京と九州で25社43人が参加

#### 三浦まゆみ氏が実践講座

令和7年度第2回「女性活躍推進フォーラム」が10月28日、オンラインで開催された。今回は「山東京」「山九州」合同で25社43人が参加。山下夏恵委員による全体進行に加え、日直の松本菜記さん(ユーコー)が司会を務めた。

冒頭、羽山雄介副委員長が「1回目は2か所でリアル開催し、今回はオンラインで両会場のみさんが一堂に会して受講する、当委員会としても初めての取組みとなります。第一部のセミナーでは東西のメンバーが混ざってグループワークを行います。日頃なかなか会うことのないみなさんが、ここでコミュニケーションを図る機会になればと思います」とあいさつした。  
**リーダーがチーム名発表**  
第1回の宿題だったチーム名をチームリーダーが発表した後、一般社団法人カラーコンサルタント

第1回の九州会場でのフォーラムの様様



羽山雄介副委員長

第2回のフォーラムで講師を務めた三浦まゆみ氏

協会代表理事・カラースクールイ  
ンリビングカラー主宰の三浦まゆ

み氏を講師に迎え、「増客に役立つ  
カラー戦略テクニック」と題する  
セミナーが行われ

た。

三浦氏によると、第一印象は3〜5秒で決まり、その印象は3年続くとされ、人は五感のうち視覚情報が87%を占め、そのうち80%以上が色による情報で、知らず知らずのうちに大きく影響を受けているという。色が与える印象・特長を基に、店内インテリアや什器、ポスターやチラシなどの告知物に使う色も、目的に合わせ戦略的に使う

#### チーム名

- |                  |
|------------------|
| 東京               |
| Aグループ：フロアライト     |
| Bグループ：チーム脳汁      |
| Cグループ：おそ松ちゃん     |
| Dグループ：ちいたけの里     |
| 九州               |
| Aグループ：ハイブリッドAチーム |
| Bグループ：令和乙女       |
| Cグループ：ビタミンC♡     |
| Dグループ：NEXT HER   |

感で決まるとし、提供されたセルフチェック表をもとに、自分に合うカラーの傾向をグループに分かれ、メンバー同士で確認しあった。

タイプ別のメイクカラーも示され、三浦氏は「自分の第一印象を見直す機会にもなったかと思えます。会社に持ち帰り、スタッフ同士でパーソナルカラーを確認しあい、制服は同じでもメイクで個性を出すことができますし、接客の際の印象が大きく変わるのではないのでしょうか」と述べ、店舗というハードと働くスタッフの個性が、より深く来店客に印象付けられるツールとして、カラーの持つ力を戦略的に使うことを提唱した。  
第2部ではテーマ「増客」を実現するための企画立案に、グル

ことを提案した。また、一人ひとりの個性を際立たせるパーソナルカラーがあり、肌や髪、目の色や質感で決まるとし、提供されたセルフ

#### 令和7年度女性活躍推進フォーラム 今後のセミナー(予定)

- 東京&九州合同オンライン開催  
11月25日(火) セミナー「プレゼンのポイント」  
12月18日(木)
- リアル開催企画：プレゼンテーション  
東京=2026年1月29日(木)、九州=2月19日(木)



九州会場では12社20人が参加（9月25日）

ープに分かれディスカッションを行った。前回のアイデアラッシュから、実現可能なテーマへと絞り込みを開始した。

九州会場第1回

12社から20人参加

東京に続き、9月25日に福岡県・福岡遊技会館を会場に、令和7年度第1回女性活躍推進フォーラムin九州を開催した。西日本エリアの会員企業とMIRAI会員企業の12社20人が参加し、リアルならではのにぎやかなフォーラムとなった。

プログラムは東京と共通で、「増客」をテーマに、自社に持ち帰り実施できる企画立案と、知識習得を目的とするセミナーで構成する。第1回のセミナーはエンタテインメントビジネス総合研究所の竹部裕樹氏による「マーケティング」を聴講。その後、グループディスカッションを実施した。

人材育成委員会

10月17日  
本部会議室（ウェブ会議）  
出席委員等11人

同時開催の事前協議  
女性活躍推進フォーラム

東京と九州（福岡）の2か所で、リアル開催でスタートした女性活躍推進フォーラムは、今期第1回を終え、運用の振り返りとともに



東京、九州オンライン同時開催の打ち合わせなどを行った人材育成委員会

第2回のタイムスケジュールなどの打ち合わせを行った。第2回から4回までは東京、九州をオンラインで同時開催するが、グループワークは両地域の参加者が交流できるようなミックスして構成する。各グループに担当委員を配置し、企画立案のサポートを行う。委員の関り方については引き続き協議する。

他産業界でもカスタマー・ハラズメント（カスタハラ）に対する基本方針やマニュアルの整備が進んでいるが、会員企業の対策をサポートする目的で「カスタマー・ハラズメント『対応基本方針』『対応マ

ニユアル』作成ガイド」の制作を進めている。たたき台をもとに委員会で最終調整を行い、完成後は会員向けウェブサイトで共有するとともに、2026年3月までにオンラインセミナーを開催する予定。

広報調査委員会

10月30日  
日本橋三洋グループビル  
出席委員等13人

設問と選択肢など最終調整  
ファンアンケート2025

第3回「広報力向上シンポジウム」つながる名刺交換会（11月6日）のスケジュール等の詳細を確認した。今回も動画収録を行い、会員企業にはアーカイブを共有する。

「パチンコ・パチスロファンアンケート2025」について、10日に行われた協力企業とWGのキックオフミーティングで、実施要項をチェックしたことが報告された。委員会では設問と選択肢について協議し、その結果を受けWGで調整を行う。設問については、社会貢献・環境対策委員会にも協力を依頼している。日遊協のウェブサイトで募集中のアンケート協力企業も含め、11月中旬のアンケート開始に向けての準備が進んでいる。